

報告 1 平成 26 年度事業計画

1. 調査研究事業（公益目的事業その 1）

①修繕改築工法に関する調査研究

- ・修繕・改築委員会において「取付け管の更生工法による設計の手引き（案）」及び「マンホール改築及び修繕に関する設計の手引き（案）」の見直し作業を行う。

②安全管理に関する調査研究

- ・安全管理に関する技術について調査・研究を行う。

③積算資料に関する調査研究

- ・「下水道管路施設維持管理積算資料」の改訂作業を行い、改訂版を発行する。

④災害復旧支援に関する調査研究

- ・災害復旧支援に関して、訓練のあり方及び被災調査方法等について調査研究を行う。

⑤BCP に関する調査研究

- ・会員の BCP 策定状況及び策定促進の方策等についての調査研究を行う。

⑥管路の耐震化技術に関する調査研究

- ・既設管路の耐震化技術に関する調査研究を行う。

⑦管路施設維持管理マニュアルに関する調査研究

- ・本マニュアルについて改訂に向けた見直し作業を行う。

⑧管路管理研究会議の開催

- ・管路管理の現状及び今後のあり方に関する意見・情報交換を国及び経験豊富な都市を交えて行う。

⑨管路管理に関する図書等の出版

- ・「管きよに修繕に関する手引き（案）」改訂版の発行を行う。

⑩500 会員時代の公益事業のあり方の検討

2. 下水道管路管理技士認定事業（公益目的事業その 2）

①下水道管路管理技士認定（総合技士、主任技士、専門技士）

- ・総合技士認定試験（筆記：東京及び大阪の 2 か所、面接：東京）を行う。
- ・主任技士及び専門技士認定試験（筆記・実技：全国 7 か所）を行う。

②下水道管路管理技士更新講習

- ・主任技士及び専門技士については、全国 9 か所で実施する。
- ・総合技士については、管路管理セミナー及び下水道管路管理技術発表会に合わせて実施する。

③下水道管路管理業登録

- ・新規登録及び登録更新を行う。

3. 講習会事業（公益目的事業その3）

①下水道管路管理技術発表会

- ・発表論文の公募、審査を経て、技術発表会を行う。

②初級研修

- ・専門技士試験の受験説明として、本部及び各支部にて研修を行う。

②中級研修

- ・日本下水道事業団の実施する認定試験（管路施設）の受験対策として、本部及び各支部にて中級研修を実施する。

③上級研修

- ・総合技士試験の受験説明として、本部にて上級研修を行う。

④下水道管路管理技術講習会

- ・管路管理技術の講習会を各支部で行う。

⑤下水道管路管理技術セミナー

- ・管路管理セミナーとしてタイムリーなテーマを設定しセミナーを開催する。（本部・各支部）

⑥管路管理安全講習会

- ・酸素欠乏危険作業特別教育を実施する。（各支部）
- ・安全管理講習会を実施する。（各支部）

4. 展示会事業費（公益目的事業その4）

①下水道管更生技術施工展

- ・札幌市にて第14回表記施工展を開催する。

②修繕改築工法説明会

- ・表記説明会を開催する。（盛岡市、岡山市）

5. 新技術開発事業（公益目的事業その5）

①新技術支援制度に基づく新規開発技術

- ・技術委員会にて、新規管路管理に関する新技術について検討する。

6. 災害調査及び災害時対応訓練事業（公益目的事業その6）

①災害対応訓練

- ・支援協定締結都市との合同訓練を中心に、対応訓練を実施する。（各支部）

②災害支援協定締結

- ・災害支援協定締結を推進する。

③災害支援前線基地責任者研修

- ・前線基地責任者に対して研修を実施し、対応力向上を図る。

④災害支援に関する講習会

- ・災害支援に関して会員及び自治体関係者を中心に講習会を開催する。(各支部)

7. 展示会出展事業 (共益事業その1)

①下水道展'14 大阪出展

- ・下水道展への出展等を行う。

②自治体等主催展示会への出展

- ・自治体等が主催する下水道関係展示会に出展する。(各支部)

8. 管路管理キャンペーン事業 (共益事業その2)

①関係省庁、地方自治体との意見交換会

②管路管理と会員の広告宣伝